OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	語文　第11輯　編輯後記/投稿規定/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 1954, 11
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68452
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

編輯後記

春が来た。

だのに、日々の新聞には政界や財界の汚職の報ぜられぬ日はなく、その根源のいよいよ深いことを示している。

法治国を標榜する国柄でありながら、小学校や中学校の先生は、学校で、憲法を教えてはならないような、暗黒時代の到来の予想されるごときときである。

祖国腐敗の根源は、結局、国民の宗教性の喪失にある。ことに、所謂支配階級といわれる人々の人間観・社会観がひどく不健全となってきているにもかかわらず、そうした人々は、自己の利益を守るに急で、それを妨げることになると思われるものには「赤だ」という烙印をおしつけて社会的に葬って了うということが流行している。そこには、正しい意味での個人主義も人道主義も、さらに平和主義さえをも悪とする新しい倫理の構築を企図しつつあるようにさえ見える。

こうした時に、古典の中に、文学のもつ宗教性に関する問題を追求しようとされる論考を、本号には二篇収めえたことは読者の興味をひくに十分だろうと思う。

学界だけは疑獄も汚職もない筈だからその点は安心して掲載論文に対する異論などもお寄せ願いたい。

アメリカにはじまった各国国語教育の紹介は、フランス・イギリス・ドイツ・中国と廻ってようやくソビエットで終ることとなったのも皮肉である。

恒例の入学試験も、今年は七、七〇〇名という大量受験者をむかえて、ますます盛況をきわきたが、国語科の出題に関しては毎年、高等学校側から好評?であり、文部省まで問題作成のモデルにするので奇とする位だが、それほど世の中には標準となるものが少いのか、ということにもなろう。

ふるさとを
もたねどわれに
あげひばり

（八木）

◆投稿規定◆

○直接購読者は投稿することができる。
○原稿の内容は国語・国文学、国語教育に関するものであること。分量は四百字詰原稿用紙二十枚以内とする。
○原稿の送り先は「豊中市柴原、大阪大学文学部国文学研究室内、語文編輯委員」宛。
○原稿の採否は編輯委員に一任のこと。
○採用しなかった原稿は返送料が添附してあれば返送に応ずる。
○一括購読者が投稿する際には代表者から紹介せられたい。

❖雑誌の寄贈・交換について

○雑誌の寄贈・交換は大阪府豊中市柴原大阪大学文学部国文学研究室宛に願いたい。

❖購読について

○購読希望者は発行所宛前金を添えて申込むこと。（送金は振替を利用されたい）

一部　五十円　送料　八円
一年分（四回分）二百円（送料共）

○五冊以上一括購読の時は一割引の上送料は不用とする。

¥ 50

発行所　大阪市南区横堀7丁目19　文進堂　振替大阪112730番　電話船場1990
編輯者　大阪府豊中市柴原　大阪大学文学部国文学研究室　代表 小島吉雄